

令和５年度 第１回昭島市自殺対策計画審議会 議事録（要点）

《日 時》令和５年８月１７日（木） 午後４時から午後５時

《会 場》昭島市役所本庁 301 会議室

《出席者》16 名

昭島市自殺対策計画審議会

長瀬 幸弘	会長
岡田 有司	副会長
長野 基	委員
山科 美絵	委員
窪田 みのり	委員
松本 智子	委員
後藤 渡	委員
古舘 敏代	委員
橋本 久貴	委員

昭島市長

臼井 伸介

事務局

保健福祉部長	青柳 裕二
保健福祉部健康課長	高橋 由利
保健福祉部健康課地域保健係長	櫻井 暁子
保健福祉部健康課地域保健係	山崎 理絵 ・ 蒲池 八千代 ・ 清水 千尋

《内 容》

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶

臼井市長	<p>非常に重要な会議だと感じている。ゲートキーパーという言葉があるが、子どもから高齢者まで、どのようにキープしていくのか。大事な審議会なので、まずもってよろしくお願いしたい。</p> <p>東洋経済社によると、全国 815 の市において、昭島市は「住みやすい街ランキング」15 位、「快適度数」は全国 2 位、「子育てしやすいランキング」は 1 都 6 県で 13 位という評価をいただいた。</p> <p>ただやはり、自殺をする人が増えるような町は芳しくないため、いかに事前に食い止めていくのか、自殺対策計画審議会は大事な審議会になろうかと思う。ぜひ先生方のご意見を頂戴しながら、施策展開の中で昭島市が先頭に立って、更に住みやすい昭島になるよう、今後ともよろしくお願いしたい。</p>
------	--

4. 委員自己紹介

5. 会長・副会長の選出

会長 長瀬 幸弘 委員

副会長 岡田 有司 委員

会長・副会長より挨拶

長瀬会長	高月病院の院長で精神科医です。病院では、審議会で取り扱わねばならない方も沢山入院している。また、日本全国、世界中で懸念される問題で喫緊の課題でありますので、委員の皆様、事務局や市の担当者、臼井市長を含めてご協力いただき、よりよい街にできればと思う。
岡田副会長	東京都立大学で、心理学の中でも児童・青年の適応や発達についての研究している。若者の自殺が近年増加傾向にあるというところで、微力ながらも尽力できればと考えている。

6. 諮問

7. 議題

(1) 昭島市第2次自殺対策計画について

➤ 自殺の現状と施策の動向について

資料3、資料3-1、別紙1を説明

【質疑応答】

なし

➤ 次期計画策定について

資料4を説明

【質疑応答】

松本委員	資料4、1ページ目「1 計画期間」について、令和5年度と6年度の点検評価は私どもが行う内容か。
事務局	この審議会は次期計画の策定に関する内容を審議する会議となるため、現行の計画については別の作業となる。

(2) 市民意識調査などについて

資料5を説明

【質疑応答】

岡田副会長	前回の市民意識調査では、『自殺を考えたことがあるか』ということをお尋ねされていたと思う。大規模な無作為抽出の調査なので、自殺企図がどの程度あるのか、実態を把握するという意味では非常に重要な調査であると思う。今回この質問が外されているのは、負荷が大きいからなのか。
事務局	自殺統計や地域自殺実態プロファイルにおいて、自殺の傾向がデータで示されているため、自殺企図に関してもこれらのデータを活用したく、今回の調査項目からは外している。
岡田副会長	経年変化を見るというところで有益な項目かもしれない。
山科委員	関係団体調査は、若い方たちの自殺が増えているので、学校に絞って行うのか。または、前回も関係団体調査をやっていて、繋がりがあるということか。
事務局	前回も関係団体調査を実施している。前は初めての計画策定だったため、障

	<p>害者関係団体や病院など、様々な機関に対して調査を実施した。</p> <p>今回、自殺総合対策大綱の改正で、「子ども・若者の自殺対策の更なる推進と強化」が追加されたため、今回の関係団体調査は、学校へ調査を集中的に実施したいと考えている。</p>
山科委員	<p>若い方たちの意見をどう拾っていくのが大事だと思う。3,000人の無作為調査だと内訳はどうなるのか、若い層の声が聞けるのか、というと、それを補完するのが関係団体調査だと思う。学校だけでなく、NPO等、子どもたちが集まる場所にも聞き取りしてみてもいいのではないかな。</p> <p>また、女性の自殺の問題が出てきているので、女性の声を拾うにはどこがいいのか考えておくと良い。</p>

8. その他

事務局	<p>今までの意見を踏まえて、改めて市民意識調査票を見直していただき、ご意見を頂戴できればと思う。</p> <p>次の審議会の日程は、来年2月中旬頃を予定している。改めて通知にてご案内させていただく。</p>
-----	--

【質疑応答】

なし

長瀬会長	最後に、会議全体を通してご意見はあるか。
後藤委員	感想になるが、イメージとしては単身者の自殺が多いのではないかと感じていた。しかし、統計では、60歳以上同居者ありが最も多いということに驚いた。
長瀬会長	<p>昭島市の人口は11万4000人で微増している。</p> <p>市が、色々な人を受け入れるキャパシティを準備していることは良いのだが、本当に色々な人がいる中で、恐らく追いきれていないのではないかな。人口が増えて豊かになることは大事で、住み続けてくれることは良いことだが、こういった自殺という形で出てしまうのはよろしくないことである。大事な施策なので、また事務局の方でお考えいただき、我々の議論にのせていただければと思う。</p>
松本委員	市民意識調査の訂正等をお送りする場合はどのようにすれば良いか。
事務局	訂正箇所が多い場合などは、ご郵送いただく必要等があるかと思う。ご連絡いただき、封筒をご用意できればと思う。
窪田委員	関係機関の団体調査について、お伝えしたいことがあれば、メールでお送りしても大丈夫か。
事務局	健康課地域保健係のメールにご連絡いただきたい。
松本委員	市民意識調査「悩んでいる人のサインはどれだと思いますか」の項目について、ゲートキーパー研修の講師 小澤先生に見ていただけてはどうか。マイナスな表現ばかりだが、死を覚悟した人がやけに明るくなったというお話があった。

9. 閉会